

グループ名	ユニット名等	科 目 名	担当教員名	対象学年次	学期
自己発見	2 単位 地域を知る	日本の行政	堀田 学	1 年次	春

授業のキーワード	行政、地方自治、ガバナンス
授業の概要・目的 及び修得させる知識・技能	現代社会は、行政の比重が多く、「行政国家」といわれることがあります。また、近年盛んなガバナンスの議論では行政は住民とのパートナーとして考えられています。この授業では行政について考え、そこでの住民の役割についても考えていきます。
履修のアドバイス・ 前提科目等	新聞・ニュース等に積極的に触れるようにしてください。また、日本の政治と現代地方自治論の中間に位置する科目ですので、この2科目を履修することが望ましい。

## 授 業 展 開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第1講	行政とは何か、ガバナンスとは何か	授業のオリエンテーションと「行政」・「行政学」についての説明をします。	第9講	新しい行政学	NPM 理論やガバナンス論を中心に近年の行政学の動向について説明をします。
第2講	行政学の起源	行政学の起源を辿り、官房学、アメリカ行政学などの説明をします。	第10講	政策評価	政策評価の意義と目的について説明し、実際の行政の取り組みについて見ていきます。
第3講	行政学の歴史	アメリカ行政学と日本の行政学について説明をします。	第11講	行政広報と情報公開	行政広報と情報公開についての現状と問題点について解説をします。
第4講	官僚制	官僚制の理論と日本の官僚制について説明をします。	第12講	オンブズマン制度	オンブズマン制度について歴史的な展開と現状について説明をします。
第5講	行政管理論	行政管理学についての説明をその批判について解説をします。	第13講	行政改革	1980年代からの日本の行政改革を歴史的に見ていきます。
第6講	行政組織論	行政組織の編成などについて理論的に考察をしていきます。	第14講	公務員制度改革	近年の議論を説明し、日本の公務員制度改革について解説を行います。
第7講	行政責任論	行政責任とは何か。説明責任(アカウントビリティ)と情報公開を中心に考えていきます。	第15講	定期試験	
第8講	地方自治	中央政府と地方政府の関係について見ていきます。	評価方法		出席状況(30%)と期末試験(70%)で評価します。
	備 考 (関連する資格・試験等)				
	使用する教科書(必ず購入してください)			参 考 文 献	
	外山公美編『行政学』弘文堂、2011年			曾我謙悟『行政学』有斐閣、2013年 真淵勝『行政学』有斐閣、2009年 西尾勝『行政学(新版)』有斐閣、2001年	